



宮城県刑務所出所者等就労・定着ネットワーク事業



認定NPO法人 Switch

〒983-0852 宮城県仙台市宮城野区榴岡1丁目6-3 東口鳳月ビル602
TEL:022-762-5851 / FAX:022-762-5853 MAIL:info@retry-miyagi.org

Switch法人HP
はこちら ▼



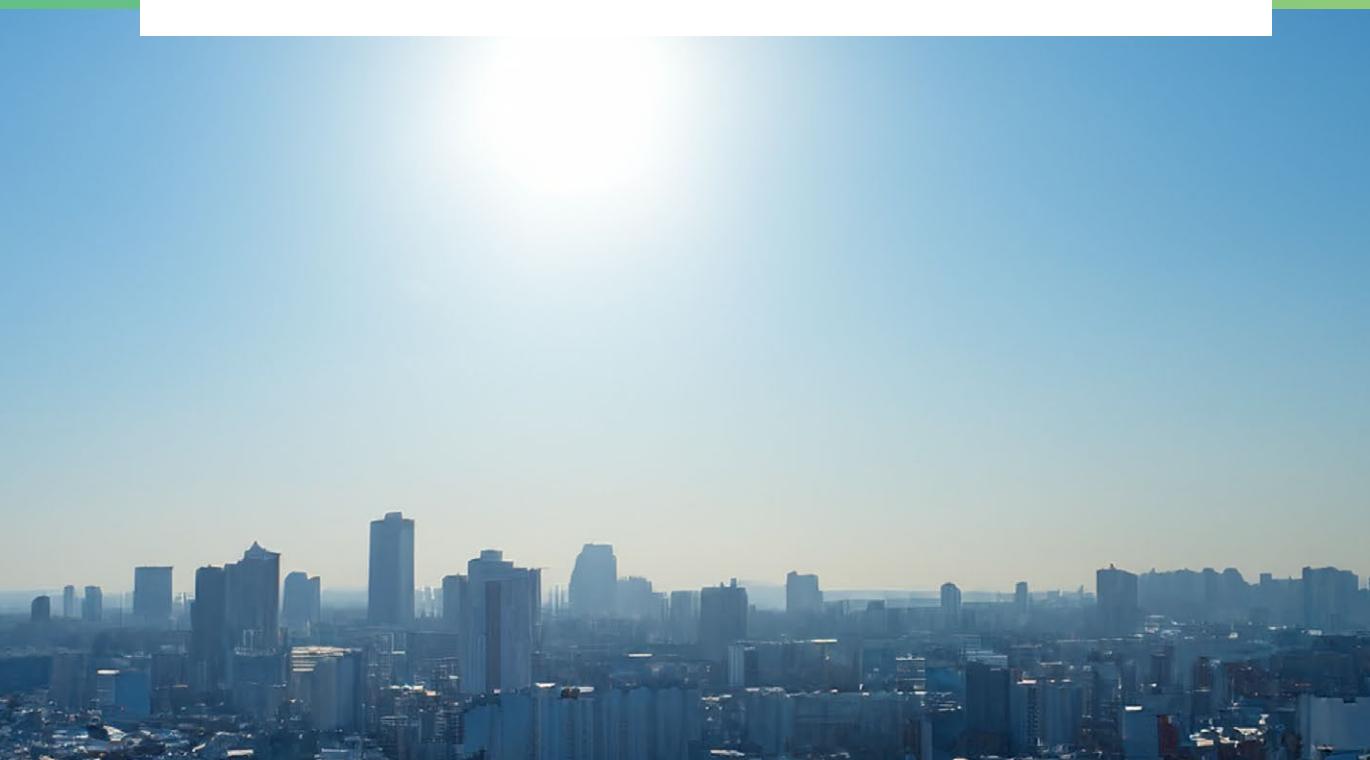
本ハンドブックの制作は、日本財団の助成を
受け実施しました

Supported by  THE NIPPON
FOUNDATION



刑務所・少年院出所者等の就労定着を支援し、

自立した生活と地域とのつながりを促進します

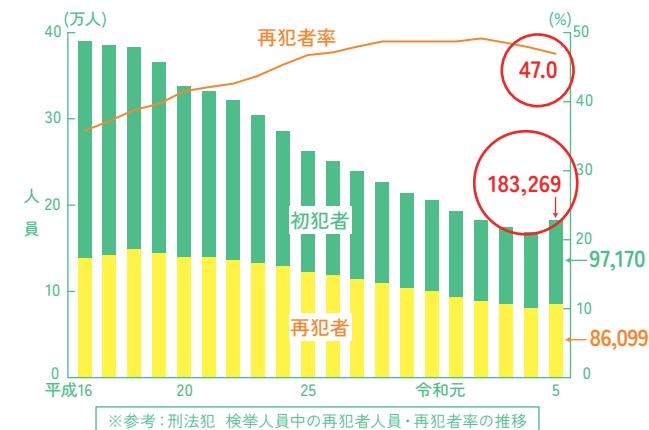


目次

はじめに「更生保護を取り巻く背景」	P 2
本事業の取り組み内容	P 3
利用の流れ、Webサイトについて	P 4
プログラム実施内容	P 5 - 8
利用者の声	P 9 - 11
関係機関の声	P 12
本事業の関係機関と役割	P 13
課題背景と対象者の属性	P 14

更生保護を取り巻く背景

「令和6年版犯罪白書」によりますと、平成16年から令和5年の20年間で、刑法犯の検挙人員は半数以下に減少しました。一方で、令和5年時点での再犯者率は47.0%と、約20%増加しています。



私たちは、この背景には犯罪傾向や社会状況の変化だけでなく、何らかの社会的な生きづらさを抱える方々が再犯につながりやすいという要因があるのではないかと考えています。

例えば、経済的に困窮し、立ち直ることが難しい方。居住地を定められず、安定した生活基盤を築くことができない方。安定したキャリア形成ができず、就労に課題を抱える方。さらには、成育歴やさまざまな理由により、再犯のリスクが高い属性を持つ方々が、何度も罪を犯してしまうという構造が、社会の側に存在しているのではないでしょうか。

今回の取り組み「宮城県刑務所出所者等就労・定着ネットワーク事業 リ・トライ！」では、そのような方々が地域社会の中で安定したキャリアを形成し、将来的に自己実現を果たすことで、再犯を防ぐことを目指しています。

この取り組みでは、本人がいつでも「助けて」と声を上げられるようなWebサイトの構築をはじめ、社会で生きるための力を身につけるための定期的なプログラムの開催、就労継続のための相談支援、そして関係機関の連携による長期的な支援を行っています。こうしたサポートを通じて、彼らが地域で長く活躍し続けられるよう取り組んでいます。

本プログラムには、予想を上回る多くの方々にご参加いただき、多くの関係者とつながることができました。その背景を知れば知るほど、このような取り組みの必要性を強く実感しています。

このたび、本事業の1年間の軌跡を報告書としてまとめました。ぜひご一読いただき、今後とも共に取り組みを進めていければと考えております。

最後になりますが、本事業を進めるにあたり、多大なご協力を賜りました法務省保護局、仙台保護観察所の皆様、宮城県就労支援事業者機構様、職親プロジェクト宮城支部様、日本財団の皆様、そしてプログラム実施にご協力いただいた講師や関係機関の皆様に、心より感謝申し上げます。皆様のご支援なしには、この取り組みは成り立ちませんでした。改めて深く御礼申し上げます。

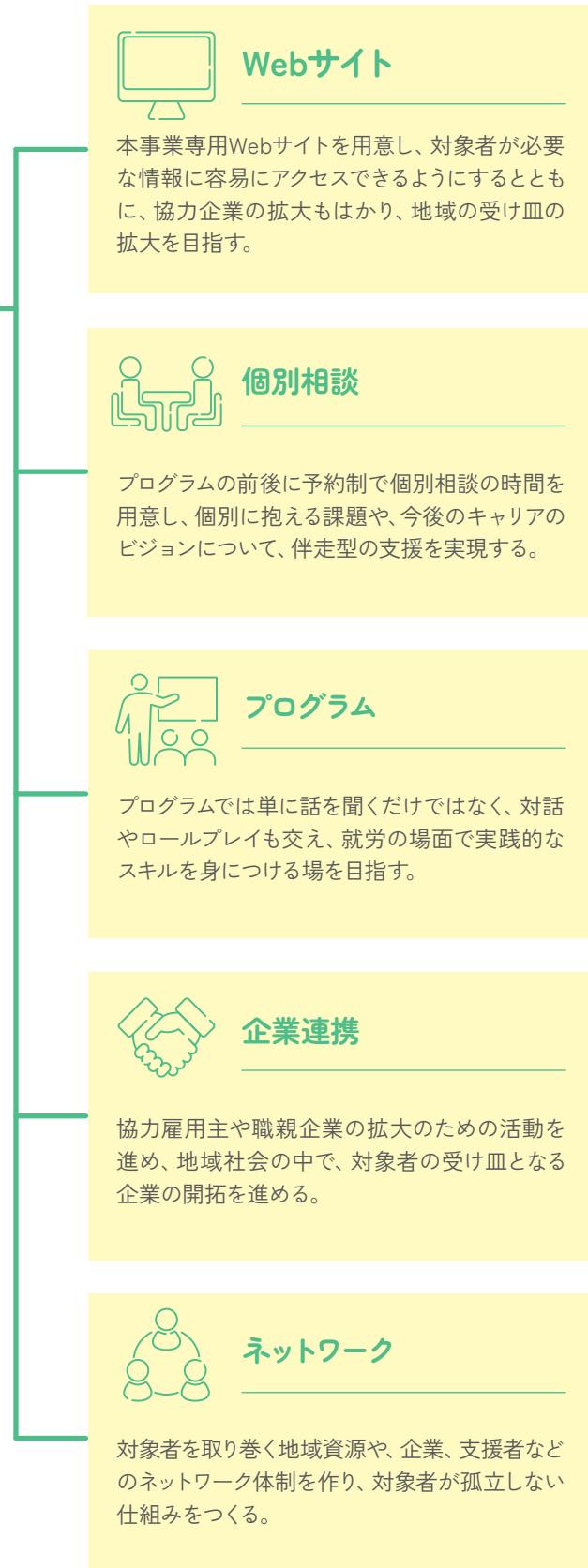
本事業の取り組み内容



就労や就労継続の悩みを抱える、宮城県内の刑務所、少年院等出所者

本事業は、刑務所出所者等の就労先確保と職場定着を目的とした事業で、現在宮城県内で職親プロジェクトに参加している企業や、協力雇用主の下で勤務する対象者が、継続して安定した雇用のもと、自立した生活の実現に向けて、必要な相談ができる居場所や、教育、研修の機会を設けるものです。

また、本事業は、中長期的には、企業等で就労する者だけではなく、犯罪や非行につながる生きづらさを抱えた人達全般を対象とした居場所づくりを念頭にしたもので、刑務所出所者等に対する地域支援ネットワークの構築につながる取り組みであり、国の再犯防止推進計画が目指す“息の長い”支援の実現にも寄与するものです。



Webサイトについて

当事業のWebサイトは、対象者が本事業のプログラムに容易にアクセスでき、個別相談の予約や、地域企業や支援機関の情報を確認できるものです。

Webサイトはコチラ ➤

<https://retry-miyagi.org/index.html>



利用の流れ

Web上で自由に利用登録・
プログラム予約

リ・トライはパソコンやスマートフォンから、自分で問い合わせ、登録、予約をすることが出来ます。対象者は自分で適切な相談窓口につながることが難しい方が多く、自分の意思で利用につながることが出来るることを大切にしています。

はじめに全員と個別面談

登録時には全員と個別面談をします。話せることもあれば、話せない過去もありますが、すべてまとめて担当者がお伺いします。否定も肯定もせず、受け止めながら、利用者の皆様の、これからキャリアを一緒に考えます。

就労・定着支援プログラム

刑務所や少年院を出た後に、生活の場面や、就職やアルバイトをするなかで、悩みを抱えることはありませんか？ そのような悩みを抱える方々のために、今回12回のプログラムをご用意しました。

実際の生活や職場の場面をイメージしながらのロールプレイを通したトレーニングやカードゲームやワークシートを使ったワークショップによって、対人関係などで状況に応じた適切な振る舞いを学んだり、社会生活を営むための必要なスキルを身につけることが出来ます。



実施したプログラムの内容は次のページから ➤

プログラム実施内容

Program Implementation

ソーシャルスキルズトレーニング：職場や生活の中で困る場面はありますか？

実施日：2024年6月22日(土) 14:00~16:00

参加者：受講者6名、講師2名、スタッフ3名

内容

受講者が抱える仕事や生活での困るもしくは困った場面、リスクのある場面をペアワークで話し合い、リストアップした。話す際のルールとして、意見を否定しないことを共有しペアワークを実施。話しで挙がった場面については、各グループから発表してもらい、人前で話す機会も作った。

感想

・SSTが、今後の自分の仕事や生活に役立ちそうであると感じた。継続して学びたい。
・今日の体験学習の場面は、自分には無かった。
・仕事の指示など、YesかNoのどちらか一方を選ぶだけが答でないことがわかった。



ソーシャルスキルズトレーニング：節約の工夫をしながら楽しく暮らすには

実施日：2024年8月24日(土) 14:00~16:00

参加者：受講者7名、講師1名、スタッフ2名、オブザーバー1名

内容

日常生活の中で必ず利用するスーパー・コンビニを最大限活用するためのチラシの見方をはじめ、図書館や公共交通機関を活用した節約術や、生活に困った時の地域資源を出し合いながら、地域で楽しく生活する工夫について学んだ。

感想

・またプログラムを受講したいです。
・人前で話すのは少し苦手だが、SSTは練習だと割り切るので話しやすかった。貴重な体験を有難うございました。
・普段からネットやスマホで簡単に答えを見つけて問題を解決しようとしがちになっていますが、人との会話の中で、答えを見つける事も大切な、と思いました。・日々のちょっとした節約は、「チリもつもれば山となる」



協力雇用主との対話

実施日：2024年7月20日(土) 14:00~16:00

参加者：受講者7名、講師1名、スタッフ2名

内容

宮城県内の協力雇用主を招き、担当者自身のこれまでの人生のお話から、雇用主として対象者と向き合うときに気をつけていることや、実際の業務の内容、個人情報の扱いの難しさ、そして仕事のやりがいについて、ディスカッションを交えながら実施した。

感想

・今まで経験の無い職業の話を聞けて良かった。
・様々な職種で支援が受けられる事が知れて良かった。
・是非機会がありましたら、体験させて頂ければと思います。・協力雇用主の存在を知ることができた。
・講師の方の経験を聞いた時、様々な経験をした方が色々な仕事につながるのだと思いました。



金銭基礎教育プログラム

実施日：2024年8月3日(土) 14:00~16:00

参加者：受講者7名、講師1名、スタッフ3名、オブザーバー1名

内容

お金と仕事について学び、自立後の生活を考えることから始まり、「生活コスト予測シート」を使ったワークショップや、「稼ぎ方、働き方カード」を使った人生シミュレーションなどを通して、自立のための金銭感覚を学んだ。

感想

・カードを引いて暮らしをシミュレーション出来たのが面白かった。
・改めて、生活再建のための金銭面について考える機会が得られたことに感謝します。
・これから安定した生活を送っていく為には、今回の講習で学んだお金の使い方、生活に必要な時間を見て実践してみたい。
・今まででは少しお金の使い方が悪かったので考えて使う様にし、できるだけ貯金をしたいと思う。



ソーシャルスキルズトレーニング：あなたは何を練習したい？

実施日：2024年10月19日(土) 14:00~16:00

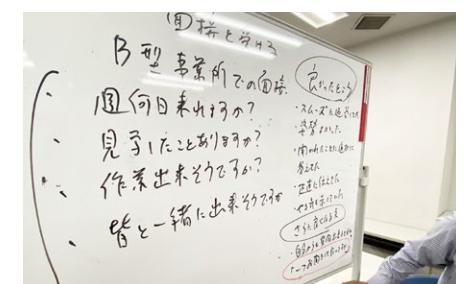
参加者：受講者8名、講師2名、スタッフ3名

内容

生活中で困る場面を出し合いながら、参加者の取り組みたい内容を中心に、就職活動の場面などのSSTを行う。

感想

・今自分が一番苦手そうな、『仕事のミスを謝る場面』の練習をさせてください。
・自分のいいところを言っていただけで、とても自信につながりました。
・仕事をするという事は、他の人と関わる場面がたくさん出てくるのでソーシャルスキルを学ぶことはとても大切だと思いました。



プログラム実施内容

Program Implementation

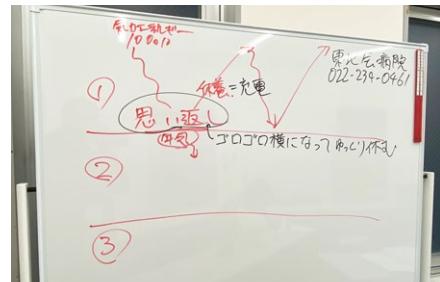
職場の中でこころの健康を保つために

実施日：2024年10月26日(土) 14:00~16:00

参加者：受講者10名、講師1名、スタッフ2名

内容
臨床心理士の講師を招き、「感情疲労」などと向き合い、職場の中でのこころの健康を保つための方法を、コミュニケーションなどを通して学ぶ

感想
・身体だけでなく、心が疲れたら、横になればいいんだと思いました。
・今日は本当に来て良かったと思いました。今日受けた事は自分にもあてはまる部分も多々ありましたので、今後の生活に役立てたいと思います。すばらしい授業でした!!
・心理学という専門的な分野の講義でも、先生の語り口が軽快で、平易な言葉遣いだったので、終始興味深く聴けました。
・SNSは、第一段階の人であふれ、見た後が疲れる。コメントも第二段階に持っていくべき。
・休みことをおろそかにしがちなので、休むことの大切さを改めて実感することができた。



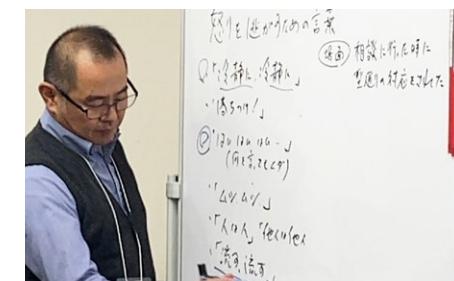
ソーシャルスキルズトレーニング：怒りなどの感情をコントロールする方法

実施日：2024年11月2日(土) 14:00~16:00

参加者：受講者11名、講師2名、スタッフ4名

内容
怒りを逃がす方法、アンガーマネジメントについて、特に職場の中を想定したSSTを中心に取り組んだ。

感想
・怒りのコントロールがうまくなりました。
・怒りを逃がすための言葉を知れて良かった。
・「怒りのスイッチを切れるようにするために」改めて考えると難しい。そのためのヒントを得られた。
・今後トラブルがあった時に役立つと思います。また受講したいです。
・ストレスをためている時などに急に怒りを感じることがあったら、他の人の意見も参考にしようと思った。
・考え方方が大人になったと思う。PTAを大切に冷静に行動したいと思います。明るく話せて良かったです。



社会で生かせる法律の知識

実施日：2024年11月16日(土) 14:00~16:00

参加者：受講者10名、講師1名、スタッフ2名、オブザーバー1名

内容
成人年齢が18歳に引き下げられたことで、若年層が向き合う「契約」に関する様々な課題と対処法について、対話を通して学んだ。

感想
・弁護士先生の話を聞いて良かったです。
・契約についてさらに詳しく知ることができた。
・今度部屋を借りるときに役に立つ情報が聞けてよかったです。
・講師の先生が仰っていた「ひとりで何でも解決出来る人間だと考えない」という言葉にとても救われた。困った時に助けを求めるようになりたい。先生の平易な語り口と実例があったので、終始楽しく聞くことが出来ました。
・契約についての話は聞く機会があまりないので、今回の話はとても実用的で身になったと感じました。
・少年院でも勉強しましたが、権利・義務・責任をまた知れてよかったです。周りの方も意見を言っていたので話しやすかった。



SSTまとめセッション：仕事や生活の様々な場面の総演習を楽しく学ぼう

実施日：2024年12月7日(土) 14:00~16:00

参加者：受講者10名、講師2名、スタッフ2名、オブザーバー1名

内容
これまで学んできたSSTについて、「場面カード」などを活用しながら、主体的な対話型のワークショップを実施した。

感想
・色々な人達の色々な話を聞けて良かったです。
・「あいさつしない」タイプの人が意外と少数だと分かり、反省しました。
・「今日はお休みですか?」と聞かれたときのためのSSTが役に立った。
・人それぞれに感じこと、考えていることが違うので、その人に合わせての会話ができるようにと思っています。
・自分が体験したことのない状況でも実際に起こりうることなので、その状況に対して対応方法を知ることができ良かった。
・ことば使いで学んだことを今後の役に立てたいと思います。またプログラムに出たいです。
・人としての優しさ、きびしさが今後の会社と生活面でいい関係や環境が出来るんじゃないかなと思いました。



Choose Your Life! 「それでもなお人生は選べる」ハッシャダイソーシャル

実施日：2025年1月19日(土) 14:00~16:00

参加者：受講者11名、講師2名、スタッフ2名

内容
「地域」の呪縛や、「貧困」という生き立ちなど、厳しい環境から、行動することで未来を変えてきた二人を招き、逆境を跳ね返す強さを学ぶ。

感想
・大変自分のためになる話をきけて良かったです。
・営業は、トップの人のマネをするといいということが役に立った。
・選択の科学の象の話から、これから働く認知症のグループホームに話が繋がって、非常に興味深く受講することが出来た。今日のように、もっと外部講師の話が聞けると嬉しい。
・できないことや分からないことでも自分から進んで理解しようとする言動が大切だと思った。
・いろいろな話を聞いたが、とにかく行動を起こすということが重要であるということが改めて感じました。
・過去や現在を振り返っても変えられないでの、前を向いて進もうと思います。



ワークショップ：ストレス対処をカードゲームで学ぶ

実施日：2025年2月8日(土) 14:00~16:00

参加者：受講者11名、講師2名、スタッフ2名

内容
ストレスリカバリー系デュエル「ココロンリーツナガール」を使用し、日々のストレスに多様な向き合い方があることを知り、今後の社会復帰や人間関係の回復に活かす。

感想
・アサーションやセルフケアが役に立った。
・考え方方が大人になったと思います。
・限られた選択肢の中からストレスに対処するというより現実的な状況をカードゲーム形式で楽しく学ぶことができた。
・全回参加がでて良かったです。ありがとうございました。とても自分のためになりました。とても良いプログラムでした。
・自分自身に役立つと思う。現在働いてるので今後参加できるかわかりませんが、機会があればまた参加したいと思います。
・仕事をしていたので役に立ちました。





Aさん

全回参加ができた良かったです。ありがとうございました。とても自分のためになりました。とても良いプログラムでした。
今回受けた事は自分にもあてはまる部分も多々ありましたので、今後の生活に役立たいと思います。すばらしい授業でした!!

Bさん

ソーシャルスキルズトレーニングで、電話での面接アポを練習して、事前に得た知識を実践したところ、手応えがあったので、今後の自信に繋がった。非常に面白く受講できました。社長役はハマリ役でした。
法律の講座では、講師の先生が仰っていた「ひとりで何でも解決出来る人間だと考えない」という言葉にとても救われました。困った時に助けを求められるようになりたいです。先生の平易な語り口と実例があったので、終始楽しく聞くことが出来ました。
今回も有難うございました。



Cさん

いろいろな話を聞いたが、とにかく行動を起こすことが重要であるということが改めて感じました。
ストレス対処の講座では、限られた選択肢の中からストレスに対処するというよりも、現実的な状況をカードゲーム形式で楽しく学ぶことができ、とても面白かったです。

Dさん

普段からネットやスマホで簡単に答えを見つけて問題を解決しようとしがちになっていますが、人の会話の中で答えを見つける事も大切だなと思いました。
今後も参加しながら、ゆっくり考えてみたいです。

協力雇用主のもとでの1日農業体験

〔感想〕

- ・大変な作業で農家さんのありがたみがわかり良かった。今日の作業は今居る所の草刈り作業にも役立てたいと思います。
- ・目に見えて作業の進捗が分かるので、集中力や集中することの楽しさに気付けたことが良かった。



1. 参加者のポジティブな感想

まとめと今後の展望

① さまざまな職業・経験談が聞けた

- ・普段関わることのない職業の話を聞くことができ、新たな視点を得られた。
- ・弁護士の講話が印象的で、法律に関する知識を得ることができた。
- ・農業に興味があり、実際に体験してみたいと感じた。
- ・協力雇用主の存在を知り、新しい可能性を考えられるようになった。



② 生活に役立つ知識を得られた

金銭管理・節約術

- ・生活費や具体的なコストについての知識が得られ、生活設計に役立てたい。
- ・スーパーでの節約術や100均の活用など、実践的な内容が学べた。
- ・「チリも積もれば山となる」といった視点を持つことができた。



法律・契約の知識

- ・契約について詳しく学ぶことができ、今後に役立ちそう。
- ・法律を知っているか否かで、将来的に大きな違いが出ると実感した。
- ・「もう一度犯罪に手を染めない」と改めて自覚できた。



③ 自己成長・自己改善につながった

ストレス対処・怒りのコントロール

- ・ストレスをためやすい自分にとって、役立つ情報が多かった。
- ・怒りのスイッチを切る方法を学び、今後実践したい。
- ・怒りを逃がすための言葉を知ることができた。



コミュニケーションスキルの向上

- ・「聞く・聴く・訊く」の違いを学べた。
- ・人の話を受け入れることの大切さを理解した。
- ・面接の練習を通じて、自信がついた。



働く意欲の向上

- ・ブランクがある中で、再び仕事をしたいという気持ちが芽生えた。
- ・SSTのトレーニングを受け、実際に就職後に役立っていると実感。
- ・「行動を起こすことの重要性」に改めて気づかされた。



2. 具体的に役立ったプログラム・講義

まとめと今後の展望

① SST (ソーシャルスキルズトレーニング)

- ・面接のロールプレイを通じて、実際に役立つスキルを身につけられた。
- ・断り方のスキルが学べたので、日常生活で活かしたい。
- ・「今日はお休みですか?」と聞かれたときの適切な対応が学べた。



② 法律・契約に関する知識

- ・これまで知らなかった契約の詳細を学ぶことができた。
- ・権利、義務、責任について再認識できた。
- ・少年院で学んだ内容を再確認でき、今後に活かしたい。



③ 心理学・セルフケア

- ・心理学の専門的な内容が分かりやすく説明され、興味深く学べた。
- ・アーサーション（自己表現）やセルフケアの重要性を実感した。
- ・休むことの大切さを再認識した。



3. 改善点・今後の要望

① 講義内容の改善

- ・初回の講義が少し抽象的だったため、より具体的な説明が欲しかった。
- ・さまざまな外部講師の話をもっと聞きたい。
- ・年代別に異なるプログラムがあれば、より有意義になりそう。



② 継続的な参加を希望

- ・今回のプログラムが非常に役立ったので、今後も定期的に参加したい。
- ・仕事があるため継続参加が難しいが、機会があればまた受講したい。
- ・実際に学んだことを今後の生活で活かしていきたい。



4. 総合評価と今後の期待

アンケート結果から、プログラムが多くの参加者にとって有意義だったことが分かります。特に「生活に役立つ知識の習得」「自己成長の実感」「働く意欲の向上」といった点で評価が高かったと思われます。一方で、「講義内容の充実」や「外部講師の増加」などの改善点も挙げられており、今後のプログラム内容の向上が期待されます。

VOICE

法務省保護局更生保護振興課
地域連携・社会復帰支援室長

林 寛之 様

再犯防止推進のため、地域における息の長い支援が求められる中、犯罪等をした人だけでなく、生きづらさを抱えた若者を幅広く対象として支援を続けてこられたSwitchさんがこの取組の中心となっていただけことは、それだけでも意義のあることだと考えています。

Switchさん、この取組と一緒に進めてくださった宮城県就労支援事業者機構、職親プロジェクト宮城支部の皆様に感謝を申し上げます。さらに、この取組に様々な面から多大な支援をいただきました日本財団、宮城県更生保護協会、全国更生保護法人連盟、立川更生保護財団、全国就労支援事業者機構の皆様にも厚く御礼申し上げます。次年度以降も充実した取組を進められますことを心より祈念します。

VOICE

法務省仙台保護観察所
次長

綿引 久一郎 様

「リ・トライ」は、犯罪や非行からの再出発のために仕事に就こうとしている人や、仕事を続けていこうとしている人を、色々な機関や団体が協力して応援する取組です。

一言で「犯罪や非行」と言っても、事件の内容やその背景は様々だと思います。また、現在、どんな生活を送っているのかも様々でしょう。ただ、再出発する中、「仕事に就きたいけど、初めてなので、どうしたら良いか分からぬ」「以前の職場で人間関係に苦労した。新しい職場で、また同じことが起こると嫌だ」「今の生活は順調だから、仕事を長続きさせたい」などなど...仕事に関する不安や希望など、色々な思いや気持ちを抱いているのではないか?もしかしたら、犯罪や非行をしたことで、不安な思いが強まっている人もいるかもしれません。「リ・トライ」では、そんな思いや気持ちを持った人達に対して、仕事に就く上で、また、仕事を続けていくために大切なことを、みんなと一緒にグループワークで学ぶ場所を設けたり、面接で相談に乗ったりしてくれたりします。

また、保護観察所が実施している「保護観察」は、強制的に受けなければならないもので、色々な約束事があります。しかし、「リ・トライ」は、強制的なものではありません。

「参加してみたい」「何かを学びたい」という、みなさんの思いが発端であり、もっとも大切なものだと考えています。

現在、保護観察を受けている人、以前に受けたことがある人、以前に刑務所や少年院に入った人などなど、何らかの犯罪や非行をしてしまったことがある人で、「リ・トライ」に興味を持ったなら、是非、参加してみませんか。

「リ・トライ」で何かを得て、これから的生活が少しでも良いものになり、再び事件を起こすことがない人生を過ごされることを願っています。

VOICE

関係機関の声



特定非営利活動法人
宮城県就労支援事業者機構
事務局長

当摩 敏広 様

このネットワーク事業は、令和6年度に認定NPO法人Switchが日本財団の助成により運営しているものです。事業の性質上、法務省保護局の協力のもと、当県就労支援事業者機構、職親プロジェクト宮城支部、仙台保護観察所等が連携し、刑務所や少年院を出た後に様々な生活の場面や仕事などで悩みを抱える人たちに、全12回の講座が開催され、この事業の中核である『居場所&プログラム』により相談の場所やサポートが提供されています。

宮城県就労支援事業者機構(宮城県更生保護就労支援事業所)は、更生保護就労支援対象者が受講して自己の問題点や課題に気付き、解消する取組を通してやり直しの機会と場所となることを期待した教育プログラムであることを念頭において、受講意欲を高める一助となるよう、全国就労支援事業者機構からの助成金を原資として、受講1回ごとに受講手当(リ・トライ助成金)を支給しています。

つきましては、関係する機関や団体の皆さま、現に雇用し、あるいは雇用予定の協力雇用主の皆さまには、この趣旨にご賛同を願い、積極的に受講者を確保できるよう、そして受講できる機会となるよう、ご理解とご協力ををお願い申し上げます。

VOICE

職親プロジェクト
宮城支部 支部長
恵和興業 代表取締役

笹川 慎太郎 様

職親プロジェクトは、就労支援の一つで、一度うまくいかなかった方も本気でやり直したい、一生懸命働きたいという方を応援しています。現在、宮城支部では、県内8社が登録企業となっており、建設関係、運送関係など様々な業種の企業が参画しています。

また、全国の職親プロジェクトに至っては、400社以上の企業が登録されていて、様々な地域でさまざまな仕事の内容がありますので、一ヶ所だけではなくいろいろなチャンスがあります。やり直したいという方はぜひ職親プロジェクト企業を訪れてみて、いい仕事を、自分のチャンスをつかんでいただきたいと思います。

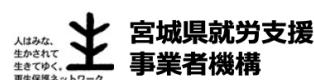
本事業の関係機関



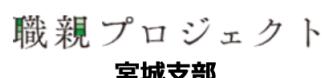
連携体制構築サポート

Supported by 日本THE NIPPON
財團 FOUNDATION

令和6年度助成による
サポート



協力雇用主企業に対する
活動周知、ネットワーキング



活動周知、採用、雇用支援、
ネットワーキング



体験活動の企画、関係機関
連携

関係機関の役割

連携事業参加企業増加に向けた取り組み

- ①地域連携事業及び職親プロジェクトの活動周知(支部業務)
→専用Webサイトによる広報の促進と、職親企業をアピールすることによる企業の参加意欲の拡大。
- ②地域連携事業及び職親プロジェクト参加企業の誘致(支部業務)

採用者(出所者・出院者)に対する支援

- ①採用者の就労及び社会生活等に係る相談窓口の設置(連携・支部業務)
- ②採用者を対象とした教育及び体験活動等の企画及び実施(連携業務)
→年間12回の居場所、講座の展開
- ③上記②の実施に際して必要な関係機関等との連絡調整等(連携業務)

連携事業参加企業支援

- ①採用及び雇用継続に係る実務支援(支部業務)
- ②出所者等の雇用に係る包括的相談窓口設置(連携・支部業務)

行政機関並びに更生保護及び その他民間団体等との連携構築

- ①矯正施設及び保護観察所等との連携体制の構築(支部業務)
- ②更生保護関係者及びその他民間団体等との連携体制の構築(連携・支部業務)
- ③連携事業関係者等による連絡協議を目的とした会議の実施(支部業務)
→年間4回のネットワーク会議を開催

課題背景と対象者の属性

就労状況 入所受刑者の就労状況別構成比(男女別、初入者・再入者別)

[男性]	無職		(令和5年)	
	初入者 (5,502)	61.0	有職	39.0
再入者 (6,990)	70.5	29.5		
[女性]	無職		(令和5年)	
	初入者 (767)	78.5	有職	21.5
再入者 (712)	86.5	13.5		

逮捕時に無職だった方が多く、女性、再入者の無職率はさらに高くなっています。

6割以上の方が仕事のない状態から孤立していくことが見て取れる

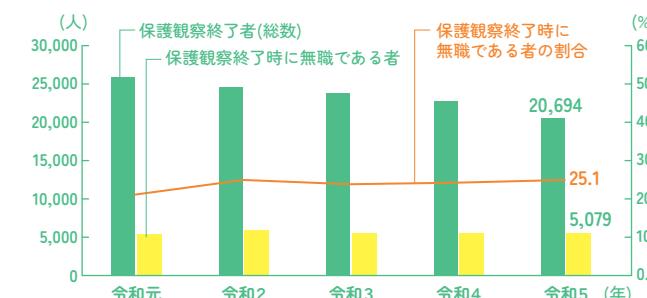
被虐待経験 少年院入院者の被虐待経験別構成比(男女別)

性別	被虐待経験					(令和6年版 犯罪白書より)
	身体的	性的	ネグレクト	心理的	虐待なし	
男子 (1,498)	33.2	5.1	3.5	57.9	0.2	
女子 (134)	33.6	9.7	9.0	45.5	2.2	

少年院入院者の男子4割、女子の半数以上が、何らかの被虐待経験があります。

少年:男子で4割、女子で5割以上が何らかの虐待を受けている

保護観察終了時の就労状況



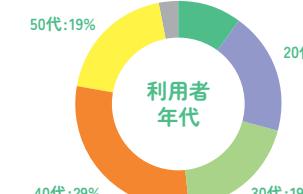
プログラム参加者の属性

登録者数: 31名

プログラム参加者数: のべ 106名

相談対応件数: のべ 266回

利用者年代



40代の「はたらく」難しさが垣間見えます

生活困窮や相対的貧困など、経済的要因が引き金になり、その影響が次のステップにも影響しています

犯罪類型



逮捕時無職: 59%

仕事のないことが、社会的逸脱の要素の一つになっています

現在の経済困窮状況



出所後も生活困窮の課題は続き、再出発を阻害しています

就労決定者数



就職した後、「働き続ける」ためのサポートが必要です

参加者のつながり元



「見えない」対象者とどうつながるかが課題です

(利用者アンケートより)